

板橋区子ども読書活動推進計画2030（素案）に対する
パブリックコメントと区の考え方

- ◎ 募集期間：令和7年7月8日（火）～7月31日（木）【24日間】
◎ 件数：10件・5人（郵送0人、ファックス0人、メール2人、Web提出3人）

No.	項目	意見概要	区の考え方（案）
1	図書館の 閲覧スペース	図書館で本を読めるスペースが足りない。公共施設で利用者が多いのは良いことだが、肝心の図書が読めないのでは困る。特に、蔵書が新しく漫画もある中央図書館は顕著である。綺麗で居心地もよいだけに勿体ないと感じる。	中央図書館では閲覧席のほか、読書や勉強に集中したい方のための予約制の学習ルームや中高生のグループ学習や読書活動のためのティーンズルームを設置、地域図書館では視聴覚室の利活用等で、読書や学習スペースの確保に努めております。 令和7年10月から中央図書館の一部閲覧席に時間制で利用できる予約システムを導入しました。 多くの方に図書館での読書を楽しんでいただけるよう閲覧スペースの確保に取り組んでまいります。
2	図書館・ 図書室の 蔵書	図書館や図書室の本が古すぎると感じる。古い資料は調べ学習には向くかもしれないが、読みたい本とはまた違うと思う。子どもたちが読みたい本や保護者が読ませてあげたい本が必要だと思う。	区立図書館・学校図書館では、新刊本を購入するのとともに、蔵書の利用状況を踏まえて古い本の除籍・買替えを適宜行っております。 また、図書館の児童サービス担当者は、業務を通じて把握した子どものニーズやレファレンス事例を会議等で共有し、選書に活用しております。 今後、子どもや関係施設に対してニーズ調査を行う等、各年代の関心に合わせた本をより充実させ、子どもや保護者の方にとって魅力ある蔵書となるよう努めてまいります。

3	子どもの読書時間	<p>そもそも読書にあてる時間がない。両親が共働きの家庭で子どもが小学生の場合、大体は学童クラブに入っているが、帰宅後は宿題や明日の支度で平日は時間が取れない。休日はゲームや外遊びやお出かけをしている。中・高校生になると、部活や試験で更に時間がなくなる。親も多忙であり、親自身に読書習慣がない世帯もあると思う。</p>	<p>家庭で読書習慣がなくても、子どもたちが1日の大半を過ごす学校等の教育施設での朝読書や国語の授業、授業の合間等のスキマ時間を有効活用し、読書時間の確保を図ってまいります。</p> <p>また、あいキッズ等での図書の充実を推進することで、子どもたちがいつでも本を読むことのできる環境を整備してまいります。</p>
4	ブックスタート	<p>ファーストブック（ブックスタート）の取組はとても良いが、月齢や親の好み等もあるので、可能であれば本を選ばせて欲しい。また、ブックスタートの本を配付する機会や場所を増やしてほしい。</p>	<p>ブックスタートの配付する本につきましては、図書館職員が知見を生かして良質な作品を選んでおります。</p> <p>絵本の選択につきましては、貴重なご意見として今後の事業の具体的な検討時に区内の状況や利用要望等を踏まえながら参考にさせていただきます。</p> <p>配付場所につきましては、令和7年4月から区立児童館26館でも受取れるよう拡充しました。今後もイベントでの配付等受取機会を増やす取り組みを行ってまいります。</p>
5	読書への興味喚起	<p>読書のハードルがイメージとして高すぎると感じる。今の子どもたちに必要なのは、親世代の読書に対する堅苦しい抵抗感を取り除くことと、自分に合った本と出会うサポート体制だと思う。だからこそ、地域の図書館や学校の図書室には頑張ってもらいたい。</p>	<p>読書に関するアンケート結果からも、本を面白いと思うきっかけづくりや好きな本との出会いが重要であることがうかがえました。</p> <p>区では、子どもの各年代に合わせた展示・イベントの実施、ビブリオトーク・ビブリオバトル等の本を介した交流会の開催、子ども司書等による子どもから子どもへの読書の楽しさの発信、ポイント付与による読書への動機づけ等、様々な形で子どもと本の出会いをサポートしてまい</p>

			<p>ります。</p> <p>また、保護者も一緒に楽しめるイベントを展開し、家庭での読書にもつなげていきます。</p> <p>様々な子どもたちに合った本を手渡していけるよう、図書館職員・学校司書は研修会や勉強会等により、知識の向上を図ってまいります。</p>
6	小さな絵本館	<p>「小さな絵本館」の取組は、いろいろな場所で本に触れることができる素敵な取組だと思う。住所とお店等の名前だけでなく、デジタルマップ等を作成し、スマートフォンで身近な「小さな絵本館」がすぐに見つけることができると、足を運びたくなる人も増えると思う。また、参加店や施設の入口にステッカーを貼り、可能であれば親子で座って絵本を読めるベンチ等もあると、ゆっくり手に取って読みたくなると思う。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。「絵本のまち板橋」として「小さな絵本館」の魅力的な運営やPR等にも積極的に取り組んでいきたいと考えているところです。いただいたご意見は、今後の事業の具体的な検討時に区内の状況や利用要望等を踏まえながら、参考にさせていただきます。</p>
7	計画策定の意義	<p>「板橋区子ども読書活動推進計画」の「はじめに」の冒頭に、中央図書館がリニューアルオープンしたことを記すのは違和感を持った。この計画をなぜ重要なものと位置付けているのか、それを先ず記すべきではないだろうか。</p> <p>国は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定して、それを実行あるものにすべく各地方自治体に「推進計画」の策定を義務付けていることは分かるが、もっと主体性を持っていたきたい。</p>	<p>ご意見いただきました内容を確認いたしましたところ、現行計画である「板橋区子ども読書活動推進計画2025」をご覧いただいたことと推察いたします。現在、現行計画での反省点や皆様からのご意見を参考に次期計画を策定しております。具体的な取組につきましては、関係各所と連携しながら区が主体性を持って進めてまいります。</p>
8	小学校での読み聞かせ	<p>私はコロナ禍以前、近隣の小学校で読み聞かせをしていた。一冊の本をみんなで一緒に読み手から聞くと、物語から受ける感情を共有するということは、子どもにとって貴重な時間であり、小学校の低学</p>	<p>集団への読み聞かせによる読書の共有体験は、子どもに本の興味を促すとともに豊かな心を育みます。</p> <p>区では、教育施設やあいキッズ等子どもが過ごす場での取り組</p>

		年こそ読み聞かせが必要だと思う。小学校での読み聞かせの実施を提案する。	みとして、読み聞かせを推進してまいります。
9	計画全般に関して	<p>この計画の良い点は、他政策との連携がとれた政策体系だと思う。</p> <p>この計画の『1. 子ども視点に立った読書の習慣化』『2. 地域企業含む人々の協力』『3. 多様な子どもたちに適応した環境整備』という基本方針では、本体となる人的資源政策だけでなく、他の政策との連携もバランス良く図られている。</p> <p>この計画に希望する点は、総合的な学習への配慮である。読書指導やおすすめ本の決定等の際には、文明社会を形づくる様々な物事の間係を、広い視点で、筋道を立てて、バランスよく考えられるようになるための、総合的な学習への配慮をお願いしたい。</p>	<p>ご理解いただき、ありがとうございます。区としても、本計画を検討する上では、他の政策との連携が非常に重要であると考えています。また、総合的な学習への配慮につきましても、いただいたご意見を踏まえ、計画の検討を進めてまいります。</p>
10	計画全般に関して	<p>私は板橋区で生まれ育ち、子育てを終えて孫がおり、何かの形でお役に立てればと思い、パブリックコメントに応募した。</p> <p>これまで、地域の子どもの対象とした読書啓発活動等の本を介した交流活動に取り組んできた。現在は板橋区を中心に多世代が本を通してつながり、心の豊かさを育めるような場づくりを行っている。</p> <p>知識不足のため勉強させていただければと思う。</p>	<p>あたたかいお申し出をありがとうございます。</p> <p>区では、子どもが地域の大人や学生との交流を通じて、より豊かな読書体験を得られるよう、地域団体や大学と連携した事業を実施してまいります。機会がありました時は、ご協力・ご参加いただければと存じます。</p> <p>次期計画は令和8年3月に策定予定です。計画書は区立図書館や図書館ホームページで閲覧できますので、ぜひご覧ください。</p>

参考：今後の第四期計画策定スケジュール（予定）

日 程	内 容
令和8年1月	文教児童委員会への報告
令和8年3月	パブリックコメントの公表
	計画策定